

製品・サービス動向-国内

■ソースネクスト：Web 会議の背景を AI で
変えるソフト「XSplit VCam」、「XSplit
Premium」を発売

(3月30日)

ソースネクスト株式会社
(<https://www.sourcenext.com/>) (東京都港区) は、
Web カメラの背景映像をワンクリックでリアルタイムに変更できる Windows 用ソフト「XSplit VCam」と
「XSplit Premium」を発売する。

テレワーク時の Web 会議など自宅でカメラを使用
する際に便利なソフトでさまざまな Web 会議サービ
スに対応している。また、XSplit Premium は XSplit
VCam の機能に加え、動画のストーリーミング配信、録
画・編集もできる上位版となっている。

通常、映像を合成する場合は単色の背景（グリーン
バック）を使って撮影するが、本製品はグリーンバッ
クなしで AI が人物を認識し、背景のみ変更できるよ
うになっている。

XSplit VCam は、Web カメラに映る背景部分を自
動で認識し、背景部分にのみ、ぼかし効果を設定でき
るようになっている。また画像のほか、動画や Youtube、
web ページも背景にすることができる。

XSplit Premium では、プロ仕様の制作機能に特長が
あり、Web カメラやキャプチャーボードのほか、スク
リーンキャプチャー、テキスト、Web ページ、ゲーム
キャプチャーなどさまざまな素材を使って配信できる
ようになっている。また、Twitch、Facebook Live、Mixer、
Youtube などのプラットフォームで簡単に同時配信
(4k 60fps 配信も可能) が行える。チャット・アラ
ート機能もあり、視聴者とのコミュニケーションをとる

ことも可能。一方、動画編集機能では、映像の切り替
え（トランジション）スタイルを多数収録しており、
ドラッグ&ドロップだけで、さまざまなメディアファ
イルを直接編集などできる。加えて、編集した動画を
Youtube に直接アップロードもできる。なお、マクロ
機能で一連の操作をまとめて実行も可能となっている。

価格は、XSplit VCam が 5,336 円（税別）、XSplit
Premium が 47,962 円（税別）いずれもダウンロード
版となっている。

■ソースネクスト：Web 会議や通話中のノ
イズを AI で低減するソフト「Krisp Pro 3 年
版」を発売

(3月26日)

ソースネクスト株式会社
(<https://www.sourcenext.com/>) (東京都港区) は、
環境音やノイズを低減するソフト「Krisp Pro 3 年版」
を同社サイト上で発売する。

Krisp Pro は、ワンクリックでノイズをミュート出来
るという「ONE BUTTON, NO NOISE」をコンセプトに
開発された、環境音やノイズを軽減するアプリケー
ション。

Web 会議などで気になる周囲の環境音やキーボ
ードの音などを減らし、人の声のみを送受信できるため、
クリアな音声で Web 会議が行える。株式会社ブイ
キューブ（東京都港区）が提供する、利用時間の制限
がない有料の「Pro」プランの 3 年版を求めやすい価格
で提供するもの。

Krisp は、AI による先進のノイズキャンセリング技
術を搭載しており、入力された音をディープラーニン
グ技術により人の声とノイズに分解し、人の声のみを

送受信できるようにする独自技術を搭載している。また、全ての音声処理をローカルで実行するため、音声データが外部に漏れる心配はないという。Web 会議にとどまらず、コールセンター、オンライン講師、オンラインゲーム、Youtuber など動画配信、遠隔サポートなどでも利用できる。

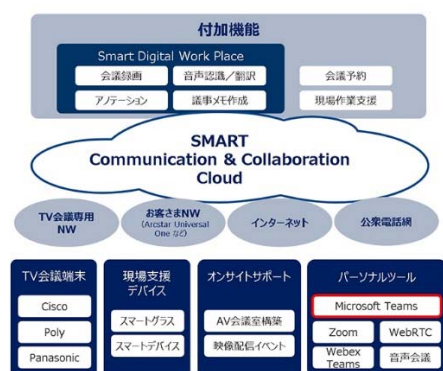
Krisp Pro 3 年版は、12,000 円 (税別)。対応 OS は、Windows 10(64 ビット版) .NET 4.6.1.以上 (推奨: Windows 10 1903 以上)。mac)S 10.12 以上。使用时にはインターネットが必要。

※関連記事: 2019 年 12 月 15 日号

■NTT ビズリンク: テレビ会議サービス「SMART」が「Microsoft Teams」とのビデオ通話に対応

(3月17日)

エヌ・ティ・ティ・ビズリンク株式会社 (<https://www.nttbiz.com/>) (東京都文京区、以下NTTビズリンク) は、クラウド型テレビ会議サービス「SMART Communication & Collaboration Cloud(SMART)」に、日本マイクロソフト株式会社が提供する「Microsoft Teams」とのビデオ通話接続を可能にするオプションメニューの提供を開始する。



SMART (NTT ビズリンク)

NTT ビズリンクが提供する SMART は、従来のテレビ会議システム・PC・タブレット・スマートフォン・Web ブラウザーでの利用だけでなく、「Skype for

Business」「Cisco Webex Teams」「Zoom」との相互接続が可能なクラウド型テレビ会議サービス。

昨今、さまざまな映像・遠隔会議ツールやコラボレーション・サービスがあふれ、働く場所も会社の会議室から自宅やリモート環境などに広がる。SMART はそれらを「つなぐ」(Super Hub) ことで、テレワークやオフィスの事業運営基盤を支える強みがある。今回発表の Microsoft Teams のオプションはその一環としての提供となる。

NTT ビズリンクのビデオ会議サービスは市場で6年連続1位(シード・プランニング調べ)を獲得しており、20年間3,500社以上の法人顧客にテレビ会議サービスを提供してきたノウハウを活用し、会議室とのよりスムーズな接続に向けた改善提案を行っている。

■Dropbox Japan: Zoom との連携を強化、さらに多くの機能が Dropbox から利用可能に

(3月17日)

Dropbox Japan 株式会社 (<https://www.dropbox.com/ja>) (東京都中央区) は、Dropbox が Zoom との連携を強化したことを発表。Zoom との連携を強化することでさらに多くの機能が Dropbox から直接利用できるようになる。

すべての作業を1カ所にまとめるというスマートワークスペースのコンセプトを持つ Dropbox。使用しているアプリを頻繁に切り替えることで仕事に集中できなくなる場合も多い。大切な作業に集中するためにスマートワークスペースはこのような課題を解決する。

同社では、スマートワークスペースと Zoom を初めて連携させたときに、Dropbox ファイルを Zoom に簡単に取り込めるようにした。

今回の連携強化により、Zoom ミーティングの内容も Dropbox に取り込むことができるようになる。Zoom ミーティングを録音・録画すると、録音・録画ファイ

ルと一緒に Dropbox に保存できるようになる。

トランスクリプトファイルは全文検索機能によってインデックスが付けられるため、ミーティングで話題になった語句を検索すれば該当ファイルが表示されるようになっている。ただし、現時点では、文字起こししたスクリプトの保存は英語のみ対応している。

さらに、Dropbox から新しい Zoom ミーティングをすぐに開始できる機能も追加された。共同作業をするチームメンバーを選択してミーティングを開始することも可能になっている。

製品・サービス動向-海外

■テンセント：クラウドベースの HD 会議サービス「Tencent Meeting」の国際版アプリを発売、日本など 100 か国で利用可能、一度に最大 300 人参加の会議に対応

(PRWire : 3月23日)

テンセント（中国・深圳市）は、クラウドベースの HD 会議サービス「Tencent Meeting」(<https://meeting.tencent.com/sg/en/>) の国際版アプリを発売したと発表。

Tencent Meeting を使用すると一度に最大 300 人が参加することができるオンライン会議を無料で開催できるようになっている。

この Tencent Meeting は、2019 年 12 月末に発売され、発売から 2 カ月のうちに、一日のアクティブユーザが 1,000 万人をこえ、中国で最も広く使用されているビデオ会議アプリケーションのひとつとなったという。

また、COVID-19 が中国で大流行した 1 月末に、一度に 300 人の参加者とオンライン会議が無料でできる機能を利用可能にした。この間、多くの企業などで Tencent Meeting を通信ツールとして使用したり、教育機関では遠隔授業やトレーニングプログラムを実施

しているという。

Tencent Meeting は主要な機能とサービスを継続的にアップグレードし、40 日以内に 14 のアップデートを実施。また、COVID-19 が流行中のユーザーズ急増に対応するため、Tencent Meeting はコンピューティングリソースを毎日拡張し、ネットワークに 100 万以上の CPU コアを追加。8 日以内に CVM (Cloud Virtual Machine) の合計は 10 万をこえ、中国のクラウドコンピューティング業界の新記録を達成したという。

なお、アプリは、App Store と Google Play からアプリケーションのダウンロードが可能となっている。

「VooV Meeting」で検索するとヒットする。国際版は、マレーシア、シンガポール、インド、タイ、日本、香港（中国特別行政区）、マカオなど世界 100 か国以上の国と地域で利用が可能になっている。

ビジネス動向-国内

■ヤマハ：ビデオサウンドコラボレーションシステム「CS-700AV」が「Zoom Rooms」の認証を取得

(3月27日)



CS-700AV (ヤマハ)

ヤマハ株式会社 (<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/>) (静岡県浜松市) は、ビデオサウンドコラボレーションシステム「CS-700AV」において、Zoom Video Communications 社が展開するソフトウェアベースの Web/ビデオ会議ソ

リューション「Zoom Rooms」の認証を取得したと発表。

本認証を取得したCS-700AVは、高品質マイク・スピーカー・カメラが一体型となった、ハドルルームに最適なオールインワン USB デバイス。今回 Zoom Rooms の使用環境に最適化されたことになる。

本認証では、マイクミュートボタンやスピーカーボリュームボタンなど操作連動に対応し、直感的な操作を可能にするだけでなく、エコーキャンセラーやノイズリダクションなどの音質も改善され、色精度や自動露光調整などのカメラ画質の向上も実現している。

CS-700AV は、会話中の言葉を逃がさないビームフォーミング・マイクロフォン・アレイとヤマハ独自の音声処理技術、明瞭な音をしっかり届ける4つのスピーカユニットによる自然で明瞭なコミュニケーションを実現する。加えて、120° 超視野角・高解像度カメラで相手の表情もつぶさに伝えるのが特長となっている。



CS-700AV を活用した Zoom Rooms によるミーティング
(ヤマハ)

設置も柔軟で、壁掛け設置でハドルルームの空間を有効活用し、テーブル上のスペースも確保できる。ディスプレイモニタースタンドや卓上スタンドなどへの設置にも対応する。

本体は、PC に USB を 1 本接続するだけで音声・映像の共有が行えるようになっている。また、SNMP (Simple Network Management Protocol) を利用した遠隔管理システムや NFC ペアリング機能を備えた Bluetooth 接続など遠隔コラボレーションに必要な機能を搭載している。オプションの拡張マイク「XM-CS-

700」も用意されている。

ヤマハは、2006 年にグローバルの UC 市場へ参入し、国内市場でも「話しやすい」「聞きやすい」豊かな会話・充実したサポート・品質などで高い評価を受け、数多くの企業に導入されている。富士キメラ総研の「2019 コミュニケーション関連マーケティング調査総覧 (マイクスピーカー、2018 年度、金額) ではシェア No.1 を確立している。

なお、本認証に対応するファームウェアは同社サイトから 3 月 27 日より無料ダウンロードが可能となっている。またユーザの利用環境で検証できる貸し出しサービス (無料) も行っている。

※関連記事：2017 年 5 月 15 日号

■ワークスマイモバイルジャパン：事業計画に沿った財務基盤の強化を目的とした 50 億円の増資を実施

(3 月 31 日)

ワークスマイモバイルジャパン株式会社 (<https://line.worksmobile.com/jp/>) (東京都渋谷区) は、50 億円の増資を行うことを発表。

ワークスマイモバイルジャパンは、チャット・スタンプ・掲示板・カレンダー・アドレス帳・アンケートなど、仕事で活用できる充実した機能を備えたビジネス版 LINE である「LINE WORKS」を提供している。2019 年 8 月に発表された「ソフトウェアビジネス新市場 2019 年版」(富士キメラ総研調査レポート) では、2 年連続で有料ビジネスチャット国内シェア No.1 を獲得した。

今回の増資は、事業計画に沿った財務基盤の強化を目的に、韓国のネイバー株式会社とその系列社であるネイバービジネスプラットフォームがワークスマイモバイルに対して 600 億ウォンの出資を行うもの。ワークスマイモバイルへはそのうちの 50 億円(資本準備金 25 億円を含む) が割り当てられ、増資前の 30 億 2,000 万円から増資後は 55 億 2,000 万円 (2020 年 4 月) とな

る。

ワークスモバイルジャパンは、日本市場におけるマーケティング活動や人材採用の強化を通じて LINE WORKS 事業の拡大を図るとともに、より一層顧客に信頼される企業を目指すとしている。

導入利用動向-国内

■プラスヴォイス：ソニー生命が手話・筆談サービスを提供開始

(3月24日)

株式会社プラスヴォイス (<https://plusvoice.co.jp/>) (宮城県仙台市) は、3月13日より、ソニー生命保険株式会社(東京都千代田区)と業務委託契約を交わし、耳や言葉が不自由な顧客を対象とした「ソニー生命手話・筆談サービス」の提供を開始する。

本サービスでは、契約者や保険の検討者がソニー生命に問い合わせをする際に、顧客よりテレビ電話を通じて同社通訳者が手話や筆談にて受け付け、その内容をソニー生命のコールセンターに音声通話にてリアルタイムに通訳をするというもの。

耳や言葉が不自由な顧客が、契約に関する問い合わせや各種手続きの申し出をする際に、音声電話を利用できないが故に、自身で連絡できない状況がある。ソニー生命では、そのような状況を考慮して、耳や言葉が不自由な顧客もよりスムーズにサービスを利用できるようにするため今回本サービスの提供を開始することになった。

市場動向-国内

■シード・プランニング：2020年国内のビデオコミュニケーション市場レポート発売、市場は2020年には527億円(推計)規模へ拡大

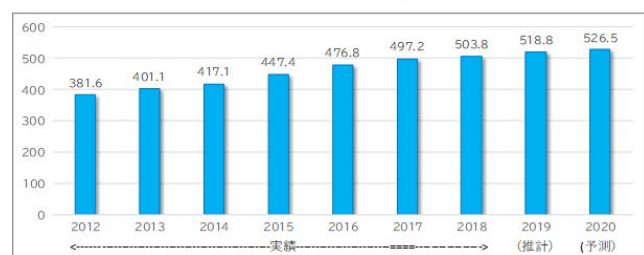
(3月23日)

株式会社シード・プランニング (<https://www.seedplanning.co.jp/>) (東京都文京区) は、国内のビデオコミュニケーション市場に関する調査を実施し、その結果をまとめたレポートを3月24日発売した。

本調査は、ビデオコミュニケーション(ビデオ会議/Web会議/音声会議)シリーズの第17弾の調査となる。オープンデータや国内主要メーカー・ベンダーへの訪問ヒアリングにより、企業動向・製品動向・業界動向・市場動向・メーカー戦略など最新動向を収集・分析(調査期間:2019年12月~2020年3月)した。

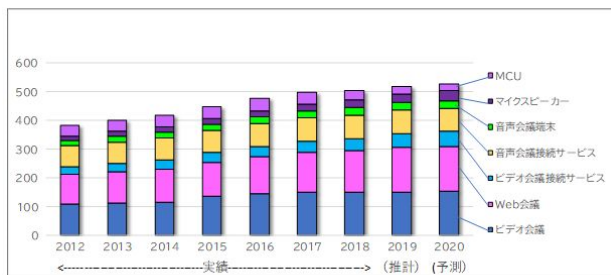
国内のビデオ会議・Web会議・音声会議等ビデオコミュニケーション市場は2019年の518.8億円(推計)から拡大し2020年には527億円(推計)規模へと成長すると予測している。その中で、シェアトップは、ビデオ会議ではシスコシステムズ、Web会議ではブイキューブ、音声会議端末ではポリコムとなっている。

国内のビデオコミュニケーション市場規模予測 (単位:億円)



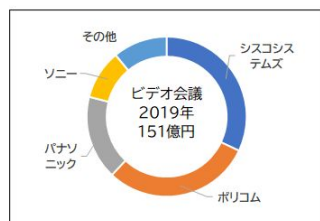
(シード・プランニング作成)

国内のビデオコミュニケーション市場規模予測 (品目別) (単位:億円)

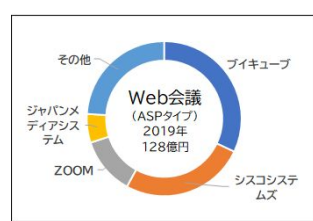


(シード・プランニング作成)

ASPタイプ メーカーシェア:金額

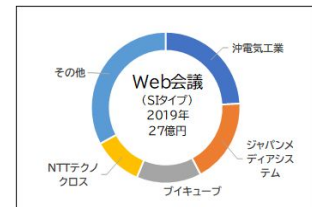


(シード・プランニング作成)



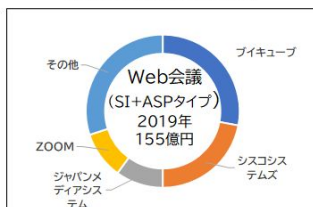
(シード・プランニング作成)

SIタイプ メーカーシェア:金額



(シード・プランニング作成)

SI+ASPタイプ メーカーシェア:金額



(シード・プランニング作成)

(グラフ:シード・プランニング)

今回のコロナウイルスの影響により、自宅でのテレワークを推進する企業が増えており、過去にも、2001年のアメリカ同時多発テロ、2003年のSARS流行とイラク戦争、2008年のリーマンショック、2009年の新型インフルエンザ流行といった時期にも同様にテレワークが注目された時期があった。その都度ビデオコミュニケーション機器・サービス市場が拡大した経緯がある。

本調査の詳細は、「2020 ビデオ会議/Web会議の最新市場とビデオコミュニケーション機器・サービス動向～テレワーク・働き方改革、ビデオ通話クラウドサービスの現状～」に掲載している。なお、本書では、注目されている新しいサービスのグループウェア、ビジネスチャット、オンライン商談システム、Web面接システムなどもビデオコミュニケーションとして取り

上げている。価格は、書籍版またはPDF版が154,000円(税込)、書籍+PDFセット版が198,000円(税込)となっている。

サービス等無償提供発表企業

コロナウイルスの影響からテレワークや在宅勤務を行う企業などが増えています。そういった企業などを支援する目的で遠隔会議・ユニファイドコミュニケーション提供会社がサービスなど無償提供を行う動きがとくに2、3月に入ってから活発になっています。

ここでは、CNAレポート・ジャパンが3月15日現在(その後3月31日も追加しています)把握した、無償提供もしくは機能拡張などのプレスリリースを行った提供会社の名前とURL(ホームページもしくは当該ページ)を掲載します。各社期間限定となっています。詳細は各社ホームページまたは直接お問い合わせください。皆様のご参考になればと思います。(順不同)

- 経産省(学びを止めない未来の教室、Zoom教育関係) : https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/zoom/
- ライフサイズ社(クラウドサービス) <https://pages.get.lifesize.com/remote-work-with-lifesize/>
- インタビューメーカー(Web面接) <https://interview-maker.jp/>
- ドコモシステムズ(Web会議sMeeting) <https://ddreams.docomo-sys.co.jp/smeeting/>
- RSUPPORT(Web会議RemoteMeetingなど) <https://www.rsupport.com/ja-jp/>
- DialPad(クラウドPBX) <https://www.dialpad.co.jp/>
- アバー・インフォメーション(デモ機など無償貸出し) <https://jp.aver.com/>
- ビキューブ(V-CUBEミーティング、営業、教育向けなど) <https://jp.vcube.com/>
- ベルフェイス(営業特化Web会議) <https://bell-face.com/>

- プリンストン（クラウド会議サービス BlueJeans）
<https://www.princeton.co.jp/news/2020/03/202003101100.html>
- AloT クラウド（Web 会議）
<https://www.aiotcloud.co.jp/>
- ポリグロットリンク（遠隔通訳サービス、学校向け）
<https://polyglot-link.co.jp/>
- ギンガシステム（LoopGate for PC/Tablet）
<https://ginga-sys.jp/>
- シスコシステムズ（Web 会議 Webex）
https://www.cisco.com/c/m/ja_jp/solutions/collaboration/webex/90days.html
- ネオキャリア（Web 会議 Calling）
<https://www.calling.fun/>
- meet in（Web 会議ミーティング、教育向け）
<https://meet-in.jp/>
- マルジュ（Web 面接 SOKUMEN）
<https://www.maru.jp/sokumen/>
- トラストバンク（自治体専用チャット LoGo）
<https://www.trustbank.co.jp/>
- ビジョン（ビジネス向け SNS ツール JANDI）
<https://vws-biz.com/jandi/>
- StarLeaf/メディアプラス
<https://www.starleaf.jp/>
- 日本アバイア（Avaya Spaces、教育機関・非営利）
（在宅コンタクトセンター）
<https://www.avaya.com/jp/>
- シャープマーケティング（TeleOffice）
<https://www.ideep.com/>
- DMM 英会話（Bellbird ビデオ通話サービス）
<https://eikaiwa.dmm.com/app/meeting>
- Vonage（Vonage Free Conferencing）
<https://freeconferencing.vonage.com/>
- ロゼッタ（遠隔会議上音声翻訳ツール）
<https://www.jukkou.com/lp/onvaku.html>
- ニューロネット（Web 会議 SaasBoard）
<https://www.neuronet.co.jp/>

PR

■ヤマハ株式会社



ユニファイド
コミュニケーション
スピーカーフォン YVC-200

<https://sound-solution.yamaha.com/products/uc/yvc-200/index>

セミナー・展示会情報

<国内>

■ブイキューブセミナー情報（4月～5月）

「いまさら聞けない Web 会議とテレビ会議の違い 選び方徹底解説セミナー」、「オフィスの「会議室足りない問題」に。スマートワークブース「テレキューブ」体験会」、「テレワーク環境をスムーズに整える秘訣とは？～安心してテレワークするための IT ツールガイド～」 など
会場：（東京・Web セミナー）

詳細・申込：<https://jp.vcube.com/event/all>

国内その他：<http://cnar.jp/cna/event-j.html>

海外その他：<http://cnar.jp/cna/event-r.html>

※イベント情報は随時情報が入り次第掲載しております。

CNAR.jp サイトの情報もご参照ください。

業界の動き

遠隔会議・UC 業界は日々さまざまな動きがあります。この定期レポートの発行は月 2 回（プレスリリースと取材に基づく記事のみ）ですが、CNA レポート・ジャパンでは、それ以外の業界の動きに関連した国内外の

情報を日々皆さんと共有しています。皆様の情報収集のひとつとしてご活用いただければ有難いです。

■フェイスブック（遠隔会議&UCトレンドワッチ）

<https://www.facebook.com/unifiedcom>

■Twitter（CNA レポート・ジャパン）

<https://twitter.com/cnarjapan>

■メーリングリスト（dte-forum）

<http://cnar.jp/cna/dteforum-ml.html>

定期レポートバックナンバー

定期レポートのバックナンバー（1999年～最新号）は下記で閲覧できます。

<http://www.cnar.jp/cna/cnareportarchive.htm>

CNAレポート・ジャパン 2020年3月31日号おわり

ホームページ: <http://cnar.jp> お問い合わせ: cnar@cnar.jp